



新施設に関して質問する参加者ら—富士市大淵

## 住民ら建設現場見学

富士・新環境  
クリーンセンター 施設に理解深める

富士市大淵に建設中の新環境クリーンセンターの工事現場見学会が23日、同市大淵の現地で開かれた。住民ら約30人が新施設について理解を深めた。

新環境クリーンセンターは2017年7月、建設・運営を請け負う川崎重工、石井組、井出組でつくる「川重・石井・井出特定共同企業体」が敷地造成工事に着工した。敷地面積は約7・3畝。1日当たりの焼却能力は2

炉で計250ト。2020年10月に稼働開始を予定している。

見学会は川崎重工の担当者の案内で実施。参加者は焼却炉が据え付けられる工場棟の建設現場のほか、敷地内に併設される環境学習施設「循環啓発棟」の

建設予定地などを見て回った。

見学会後には参加者から「焼却炉の燃焼度は何度か」「循環啓発棟の前に植栽する花は既に決定済みか」などの質問があつた。

見学会は環境学習施設の準備に携わる「環境学習施設を準備する市民みんなの会」が企画した。参加者は現在稼働中の同市の環境クリーンセンターも見学した。